

「丁銀づくり」体験の実施について

平成23年4月1日現在
石見銀山世界遺産センター

石見銀山世界センターでは、銀山にちなんだ「丁銀（ちょうぎん）づくり体験」を平成22年から実施しています。「低融合金」と「プラ板」を材料として、丁銀や自分自身のアイディアでキーホルダーをつくります。世界遺産・石見銀山遺跡の来訪記念にあなた自身のオリジナルキーホルダーづくり体験はいかがでしょう？

◆料金と所要時間

「低融合金のキーホルダーづくり」	¥1,500（材料費含む）	所要時間	約1時間
「プラ板のキーホルダーづくり」	¥100	所要時間	約15分

◆体験日

毎週水曜日・木曜日

※団体の申込は、下記[囲み記事](#)を参照ください

◆時間

13:00～16:00

※受付終了：低融合金は14:30、プラ板は15:30

◆場所

世界遺産センター・エントランスホール

◆メニュー内容

「低融合金キーホルダーづくり」（下写真）

低融合金（約138℃で溶ける金属）を溶かし、型に流し込んでオリジナルのキーホルダーを作る体験です。4種類の型の中から好きな形を選び、彫刻刀で好きな模様を彫ることができます。

「プラ板キーホルダーづくり」

丁銀（ちょうぎん）の形をしたプラスチック板に好きな絵を描き、トースターで「チン！」すると約4分の1の大きさに縮み、オリジナルのキーホルダーをつくることができます。



◆団体の申込

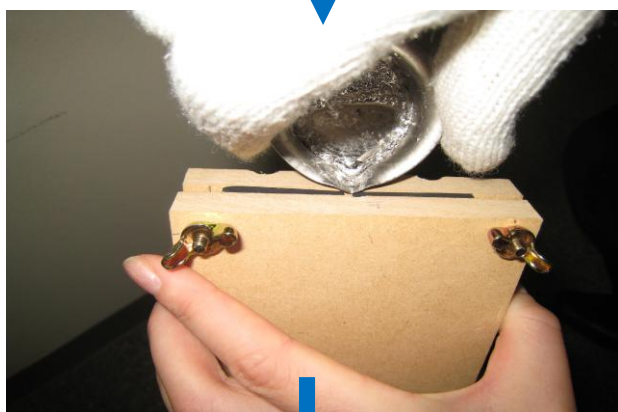
団体（8名以上）の場合は、体験日や時間等の相談をします。1週間前までの事前予約が必要、下記の問い合わせ先まで。

◆問い合わせ先	石見銀山世界遺産センター・体験担当スタッフ
	TEL 0854-89-0183（平日の10:00～16:00のみ）

低融合金を使ったキーホルダーづくり



- ①好きなゴム型を選ぶ。上のすき間が湯口（右）
木板に好きな模様を彫る（左）



- ②上記①で作った材料を、ゴム型を真ん中にしてサンドイッチ状にし、湯口から溶かした低融合金を流し込む



- ③固まったら出来上がり（5分後）
左写真は穴をあけキーホルダーをつけたもの

ひとくちメモ

金属を溶かし、型に流し込んで形にすることを「鑄造(ちゅうぞう)」といいます。江戸時代、石見銀山の銀も江戸や大阪に運ばれ、鑄造されて貨幣に変えられていました。

丁銀(ちょうぎん)とは、銀でつくられた貨幣のこと。譲り葉型や、なまこ型などの貨幣があります。



▲体験風景